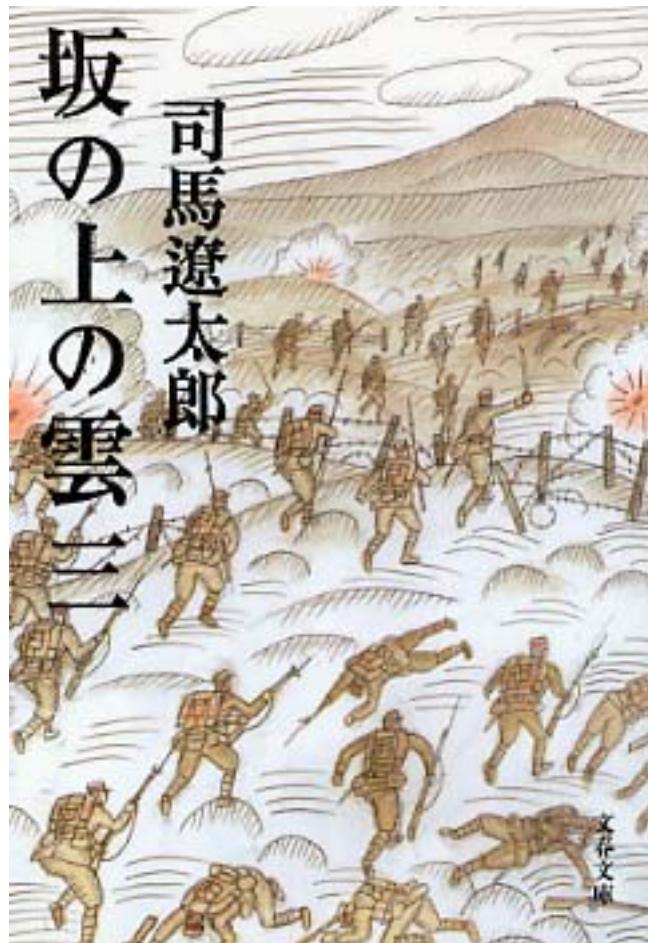


坂の上の雲 <3>



[坂の上の雲 <3> 下载链接1](#)

著者:司馬遼太郎

出版者:文藝春秋

出版时间:1999-1

装帧:平装-文库

isbn:9784167105785

日清戦争から十年一じりじりと南下する巨大な軍事国家ロシアの脅威に、日本は恐れおののいた。「戦争はありえない。なぜならば私が欲しないから」とロシア皇帝ニコライ二世はいった。しかし、両国の激突はもはや避けえない。病の床で数々の偉業を

なしとげた正岡子規は戦争の足音を聞きつつ燃えつきるようにして、逝った。

作者介绍:

大正12(1923)年、大阪市に生れる。大阪外国语学校蒙古語科卒業。昭和35年、「梟の城」で第42回直木賞受賞。41年、「竜馬がゆく」「国盗り物語」で菊池寛賞受賞。47年、「世に棲む日日」を中心とした作家活動で吉川英治文学賞受賞。51年、日本芸術院恩賜賞受賞。56年、日本芸術院会員。57年、「ひとびとの跫音」で読売文学賞受賞。58年、「歴史小説の革新」についての功績で朝日賞受賞。59年、「街道をゆく“南蛮のみち1”」で日本文学大賞受賞。62年、「ロシアについて」で読売文学賞受賞。63年、「韃靼疾風録」で大仏次郎賞受賞。平成3年、文化功労者。平成5年、文化勲章受章。平成8(1996)年没。

目录:

[坂の上の雲 〈3〉 下载链接1](#)

标签

司马辽太郎

日本

历史小说

小说

历史

日本文学

坂の上の雲

司馬遼太郎

评论

着重都在日俄战争上

很喜欢看战争是怎么引发的，讲的很具体也很通俗易懂

二刷

战争的爆发源于地区均势失衡。俄国借口清国发生义和团运动出兵占领东北，日本一向视韩国、辽东为帝国生命线，不容他人染指，日俄之战一触即发。当时日本常备军兵力为二十五万，俄国则为一百万，日本联合舰队和俄国太平洋舰队实力相当，但波罗的海舰队赶来相助，则制海权将被俄国夺走。日本政府百般权衡与俄开战的不利后果后，还是决定放手一博，向俄开战。沙皇不相信日本会主动挑战列强，所以俄军准备不足。联合舰队袭击了仁川、旅顺的俄国战舰，战争爆发。黑木为桢的第一军以三万兵力在镇南浦登陆，攻占九连城后杀向辽阳。奥保巩的第二军以四万兵力在辽东半岛登陆后，攻占金州、南山，因为俄军南下救援，第二军向北抵御。日军成立第三军攻打旅顺，由乃木希典指挥。乃木是参谋总长山县有朋长州老乡，山县为平衡军中势力推出乃木但给日军造成重大损失。

辽河会战最大功臣是黑木为桢大将的第一军，强渡辽河打得俄军措手不及。这里陆军和海军的差别体现在山县有朋和山本权兵卫上，陆军马鹿已经初见端倪了

明治为了自强、侵略过分压榨了底层民众的生活，胜果又不能普及全体民众，造成之后昭和的逆动。而司马辽太郎却以此为日本之美德，一味哀叹日本之不幸，有些作呕。日俄战争非俄实力不济，乃日本计算精细，俄失误较日多而已。明治菁华在此一战而多有凋零，贪速逞凶好勇终伏二战之败。

从秋山兄弟的角度转到大时代背景，那时能赢俄国真可谓奇迹，同时也不可避免的增强了好战浮夸之心。

网翻中文版阅毕

[坂の上の雲 <3> 下载链接1](#)

书评

[坂の上の雲 <3> 下载链接1](#)